



ゴー! ゴー!
Go Go リハビリ!

新生病院では、



どんなリハビリができるの?

身体機能の回復・病気の早期発見・

生活の質の向上に繋げるリハビリを行っています

リハビリテーションとは
リハビリテーション (rehabilitation) の
“re” とは「再び」という意味を持っています。
また、“habilitate” はラテン語の「適合させる」が語源となっており、直訳すると「再び、適合させる」という意味になります。リハビリテーションとは、失った能力を練習や環境設定により再構築するための手段です。

低周波治療で身体の働きへアプローチ



理学療法では、病気やけが、高齢・障害をお持ちの方に、運動機能の維持・改善を目的に運動や温熱・電気刺激などを用いて、患者さんの状態に合わせて低周波治療を行います。具体的には、電気パットを貼り、微弱な電流を流すことによって筋肉を刺激します。出力を調整して行う事でマッサージ効果や疲労回復、筋力強化、神経を刺激して麻痺に対する



神経促進が可能になります。部位や目的によって使用方法は様々で、リハビリを効率よく行なうための方法の一つです。

理学療法

リハビリを通して行う認知機能検査

作業療法では、対象となる方の生活行為に対して治療や指導、援助を行うほか、治療やその他の支援に繋げるための評価を行なっています。また、当院には物忘れ外来があり、医師からの依頼を受け認知機能検査を行なっています。

10～15分程度の検査で認知症疑い、または認知機能低下

を早期発見できるものから、45～60分かかり記憶の様々な側面を測定し、種々の疾患の記憶障害の評価を行う検査もあります。外来・入院双方の患者さんに検査を実施しています。



作業療法

安全に食べるためのリハビリ

言語聴覚療法では、言語障害や聴覚障害、ことばの発達の遅れなど、ことばによるコミュニケーションの問題や、医師の指示のもと嚥下障害にアプローチします。嚥下障害への取り組みとして、歯科医師によるスクリーニング検査を経て、客観的嚥下機能検査を用いています。

加えて、嚥下内視鏡検査及び嚥下影検査の2種類を2～3件/月行なっています。これらの結果をもとに口から食べる際の安全な姿勢の選定、食形態、一口量、摂取方法の検討をしています。



言語聴覚療法



院内研修 3つの取り組み



1 知識・技術の更なる向上を目指す「職種別の自主研修会」

安全・安心なリハビリを患者さんに提供できるよう、知識の共有や技術力向上を目的として職種別に5~7名程度の小グループで、自主的な勉強会を月2回程度開催しています。

2 院外研修で得た最新情報を共有し、スキルアップに繋げる「伝達講習会」

医療と同様、リハビリテーションも常に新しい情報・技術を取り入れ、スキルアップしていく事が求められています。そのため積極的に院外で開催される研修会に参加し、そこで得た知識をリハビリスタッフに伝えメディカルリハビリテーション課全体のレベルの向上に繋げています。

3 社会人としての基礎を学び、専門職としての自覚を育む「新人研修会」

メディカルリハビリテーション課には、社会人1年目の職員も多く入職しています。セラピストとして活躍する以前に、社会人としての意識や専門職としての技術・知識の基礎スキルを確実に身につける為、月2回程度実施しています。

メディカルリハビリテーションは個性強めのスタッフも魅力です

Q メディカルリハビリテーション課が大切にしていることは？

当課の理念となっている「共に励み、共に喜び、そして共に生きる」を念頭に、患者様と一緒に苦楽を共有できるようスタッフ一同心掛けています。

みんなをまとめるリーダー!

Q 普段はどんな仕事をしていますか？

主にスタッフのマネジメントを行い、笑顔をもっとに仕事内容や方針をスタッフ全員で一緒に考えることができるよう、ミーティングの場を多く持つなどして努めています。



メディカルリハビリテーション課 中島 課長 (理学療法士)

気軽にリハビリを楽しめます

イベント情報

-Information-

9月29日 (日)

「新生病院祭」

レッツ リハビリ体験!

場所:メディカルリハビリテーション室(病院1F売店前)

今年の病院祭も、リハビリ体験を行います。

- ▶理学療法.....転ばない体作りに必要なバランスに関する足のストレッチや筋トレの体験
- ▶作業療法.....脳が若々しい状態であるために必要な注意や記憶の検査体験
- ▶言語聴覚療法...肺炎予防に必要な飲み物にトロミを付けた摂取方法の体験

2018年病院祭の様子



「リハビリってどんなことするの?」

病院祭では、そんな疑問にスタッフがお答えします!



たくさんの方のお越しをお待ちしています!